

学修成果に係る自己評価に関する卒業時アンケート（2021年度）集計結果 発達心理学科

回収結果

学部	文学部				人間総合学部				合計
学科	国語国文	フ語フ文	英語英文	学部計	児童文化	発達心理	初等教育	学部計	
回答数	77	111	113	301	50	50	68	168	469
卒業生数	98	120	117	335	50	64	71	185	520
回答割合	78.6%	92.5%	96.6%	89.9%	100.0%	78.1%	95.8%	90.8%	90.2%

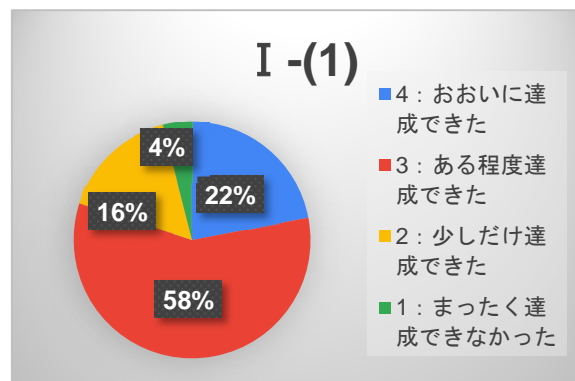
卒業生数には2021年9月卒業生、2022年3月卒業生を含む

I. 発達心理学科のディプロマ・ポリシーについて

(1) 時代を超えて普遍的に求められる豊かな人格形成をおこなうために、カトリックの人間観・世界観を理解するための基礎的な能力を身につけている。

4：おおいに達成できた	11
3：ある程度達成できた	29
2：少しだけ達成できた	8
1：まったく達成できなかった	2

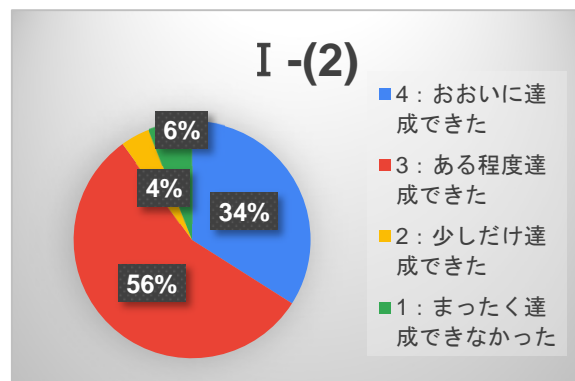
50



(2) 時代を超えて普遍的に求められる深い教養と知性、自己を発見する心を持つ自立した女性になるための基礎的な能力を身につけている。

4：おおいに達成できた	17
3：ある程度達成できた	28
2：少しだけ達成できた	2
1：まったく達成できなかった	3

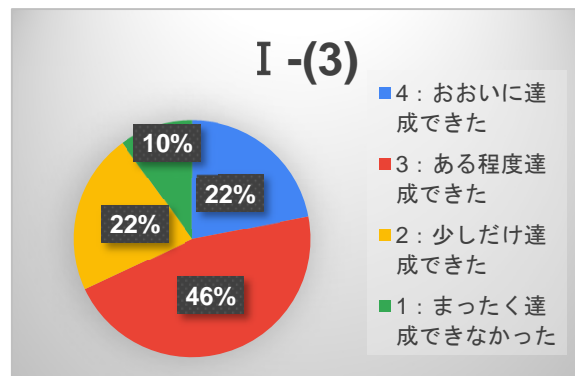
50



(3) 現代社会に求められる外国語学習を通じ、異文化への深い理解のために必要な能力を身につけている。

4：おおいに達成できた	11
3：ある程度達成できた	23
2：少しだけ達成できた	11
1：まったく達成できなかった	5

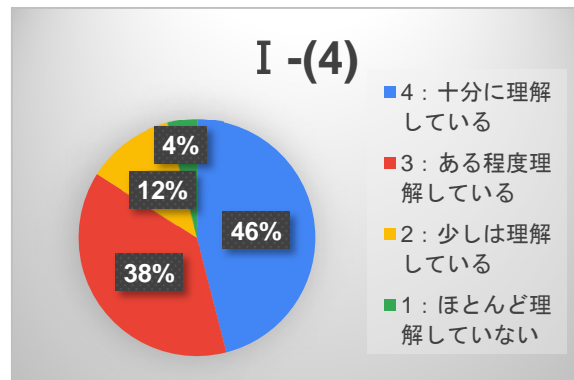
50



学修成果に係る自己評価に関する卒業時アンケート（2021年度）集計結果 発達心理学科

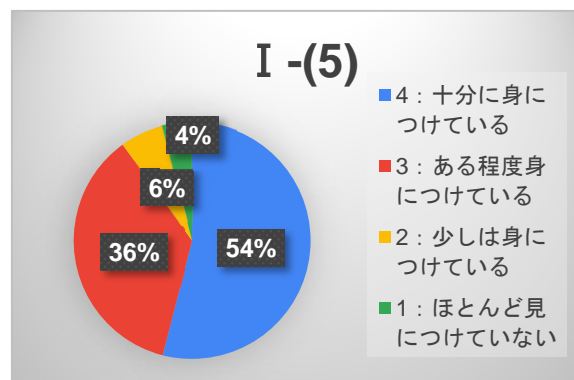
（４）胎児期から老年期にいたる生涯発達の標準形と多様性を、生物学的・社会文化的な背景とともに理解している。

4：十分に理解している	23
3：ある程度理解している	19
2：少しは理解している	6
1：ほとんど理解していない	2
50	



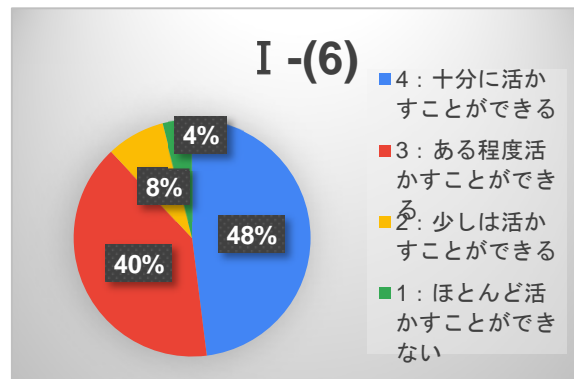
（５）人間は遺伝学的・生得的に規定されると同時に、どのような環境で育ち大人になっていくかという社会文化的文脈によっても大きく左右されるという生涯発達心理学の考え方を身につけ、人間を発達の視点から捉えることができる。

4：十分に身につけている	27
3：ある程度身につけている	18
2：少しは身につけている	3
1：ほとんど見につけていない	2
50	



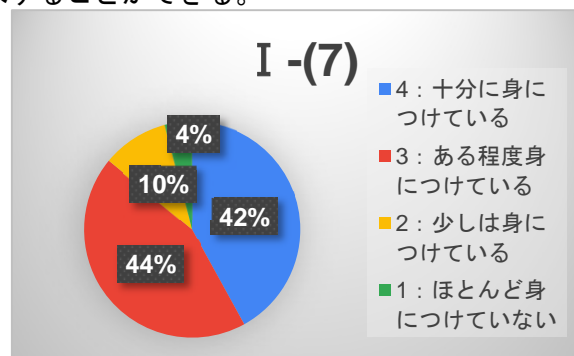
（６）人生のさまざまな時期に遭遇する発達の課題や危機を理解し、発達障害や精神疾患等の臨床的な問題とそれらへの対応に関する専門知識を、人々の心の健康の増進を図るためのスキルとして活かすことができる。

4：十分に活かすことができる	24
3：ある程度活かすことができる	20
2：少しは活かすことができる	4
1：ほとんど活かすことができない	2
50	



（７）実験や調査、観察などの心理学の基本的な方法を身につけるとともに、それを使って現代社会の発達心理学的課題を積極的に見出して探求することができる。

4：十分に身につけている	21
3：ある程度身につけている	22
2：少しは身につけている	5
1：ほとんど身につけていない	2
50	

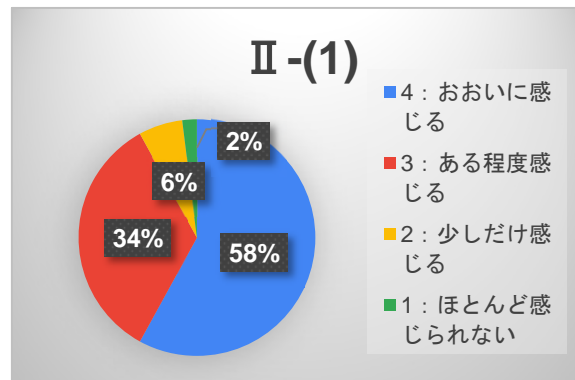


学修成果に係る自己評価に関する卒業時アンケート（2021年度）集計結果 発達心理学科

Ⅱ. 発達心理学科での全期間の学修を通じた成長実感と満足感について

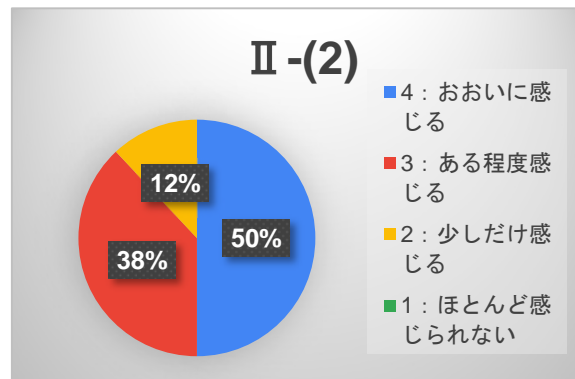
(1) 自分は人間的に成長した。

4：おおいに感じる	29
3：ある程度感じる	17
2：少しだけ感じる	3
1：ほとんど感じられない	1
50	



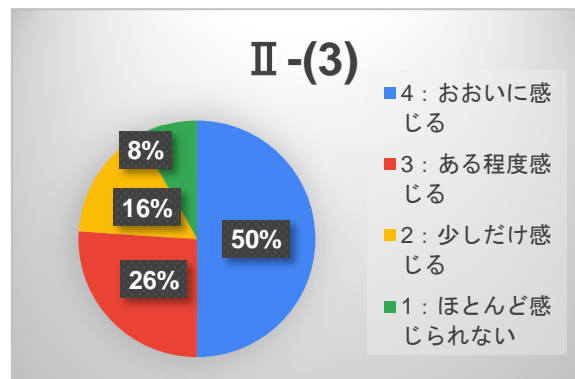
(2) 自分は学問的に成長した。

4：おおいに感じる	25
3：ある程度感じる	19
2：少しだけ感じる	6
1：ほとんど感じられない	0
50	



(3) 自分の学修成果に満足している。

4：おおいに感じる	25
3：ある程度感じる	13
2：少しだけ感じる	8
1：ほとんど感じられない	4
50	



(4) 自分の大学生生活に満足している。

4：おおいに感じる	24
3：ある程度感じる	16
2：少しだけ感じる	6
1：ほとんど感じられない	3
49	

